

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市旭ヶ丘児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 23,713人(前年度比 114.7%) 令和3年度 20,666人 令和2年度 17,381人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 46,152千円 (39,862千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>令和4年度は、コロナ禍による制限が緩和されはじめたことで、地域により必要とされる児童館を目指し、地域諸団体等との繋がりを大切に事業の充実に努めた。</p> <p>〈児童健全育成事業〉 自由来館が再開となり、小学生の利用が増えてきている。また、今年度から立ち上げた『ジュニアボランティア（アサヒガオカナイン）』も児童館活動を通し、地域に貢献する活動を行った。</p> <p>〈子育て家庭支援事業〉 年齢別や異年齢の通常行事に加え、親子で楽しむベビーマッサージや親子ヨガ、保護者を対象とした食育セミナーやわいわいミニバザー、土曜日には普段は出していない大型遊具で遊べるちびっこファミリーデイ、乳幼児親子対象のクリスマスコンサートなどを実施し、充実したプログラム運営を目指した。</p> <p>〈地域交流推進事業〉 10月には『児童館まつり』を行い、乳幼児親子の参加や児童クラブ登録児童の保護者にもお手伝いいただき、交流を深めることができた。12月には台原中学校の協力で『クリスマスコンサート』を実施し、たくさんの方々楽しんでいただいた。</p> <p>〈放課後児童健全育成事業（児童クラブ）〉 登録児童の増加により、今年度からサテライトの運営が始まった。サテライトについては、運営初年度ということもあり、児童がより安全にかつ快適に過ごせるように職員会議等で何度も協議を重ねながら運営を行った。また、今年度は夏と冬に宿泊を伴うキャンプを実施した。また、一昨年度から始まったこどもたちの発表の場である『あさひがおかチャンネル（あさちゃん）』は、こどもたちの間にも定着し始め、ダンスやコマ回し、コントなどに参加するこどもたちが増えてきており、児童の主体的な活動の場となっている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、令和4年度ジュニアボランティア「アサヒガオカセブン」を立ち上げた。コロナの影響もあり主に児童館まつりや児童クラブ児童との交流等、内部向けの活動となったが、初年度の活動を活かして次年度は地域に積極的に活動展開していく計画を進めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、年齢別、異年齢の定例行事の他、共働き家庭や父親を主なターゲットに遊戯室に滑り台やジャングルジム等の大型遊具を土曜日に設置、職員との工作等を行い働いて平日の来館が難しい乳幼児親子に遊びの場を提供する等、乳幼児親子の視点で利用しやすい環境作りに努めており、これらの取り組みにより来館者のリピーターに繋がっている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域の関係機関、関係団体の方々からの指導を受けて自然体験の場を提供し、世代間交流を通して子ども達の自主性や考える力を育てている。また三館連携事業においては、ニュースポーツを通して近隣地域を含めた地域交流を積極的に展開している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、地域探検隊の活動で様々な自然体験や「アサヒガオカセブン」との異年齢交流を通して子ども達の生きる力と学び考える力を育てている。また毎年恒例の「あさひがおかチャンネル」は子ども達が企画運営や準備、演者等それぞれの立場で主体的に関わった。異学年が外遊びの時間を活用してダンスの練習をしたり、レゴの大作の発表に向けてグループを作り取り組む等、遊びの意欲が高まり、できた自信や自己肯定感を育む1年間の集大成となる活動となった。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課